

## 第2章 幸福実感指標の現状

### 分析の考え方

「みえ県民力ビジョン」において設定した16の幸福実感指標に基づき質問した「地域や社会の状況についての実感」について、県民の皆さんがどの程度実感しているのか、問2の回答結果をもとに7つの属性（性、年代、職業、結婚、世帯構成、世帯収入、地域）ごとにクロス集計による分析を行いました。

特に、実感していない割合が高い属性項目は何かを把握することは、県民の幸福実感の向上に向けて、県が注力していくべき課題を考える際に一つの手掛かりになるのではと考えます。

#### （分析の進め方）

16の幸福実感指標毎に、以下の通り分析を行いました。

- （1）まず、県民の皆さんがどのくらい実感しているのかを確認するため、県全体のそれぞれの回答割合を図示しました。【図表】
- （2）次に、実感していない層はどの人たちかを見るため、「どちらかといえば感じない」と「感じない」について、属性ごとに、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差を図示しました。【図表】  
（図表において、棒グラフが上向きの場合、その属性項目は「どちらかといえば感じない」もしくは「感じない」と回答した割合が高いことを示しています。）
- （3）実感している層と実感していない層を把握するため、属性全体との回答割合の差が統計的に有意であるといえる属性項目を、回答別に表示しています。（図表）
- （4）最後に、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差が大きい属性項目（例：「どちらかといえば感じない」「感じない」の回答割合がいずれも属性全体より高い属性項目）を、特徴のある属性項目であると捉え、要点として記述しています。

（注1）統計的な手法の詳細については資料編8頁に、分析の進め方の具体例については資料編9頁に掲載しています。

（注2）幸福実感指標は、「みえ県民力ビジョン行動指針」において、16の政策分野ごとに設定したもので、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

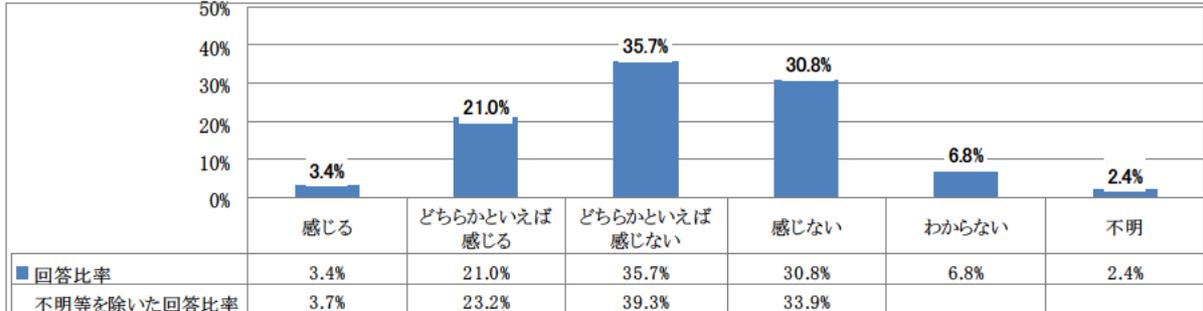
問2	幸福実感指標	関連する政策分野
2-1	災害等の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	危機管理
2-2	必要な医療サービスが利用できていると感じる県民の割合	命を守る
2-3	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしを守る
2-4	必要な福祉サービスが利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
2-5	身近な自然や環境を守る取組が広がっていると感じる県民の割合	環境を守る持続可能な社会
2-6	一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合	人権の尊重と多様性を認め合う社会
2-7	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	教育の充実
2-8	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	子どもと育ちと子育て
2-9	スポーツを通じて夢や感動が育まれていると感じる県民の割合	スポーツの推進
2-10	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域との連携
2-11	文化芸術や地域の歴史等について学び親しむことができると感じる県民の割合	文化と学び
2-12	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
2-13	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強んで多様な産業
2-14	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保
2-15	国内外に三重県の魅力が発信され交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
2-16	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

## II 分析結果

### (1) 災害等の危機への備えが進んでいる (問2-1)

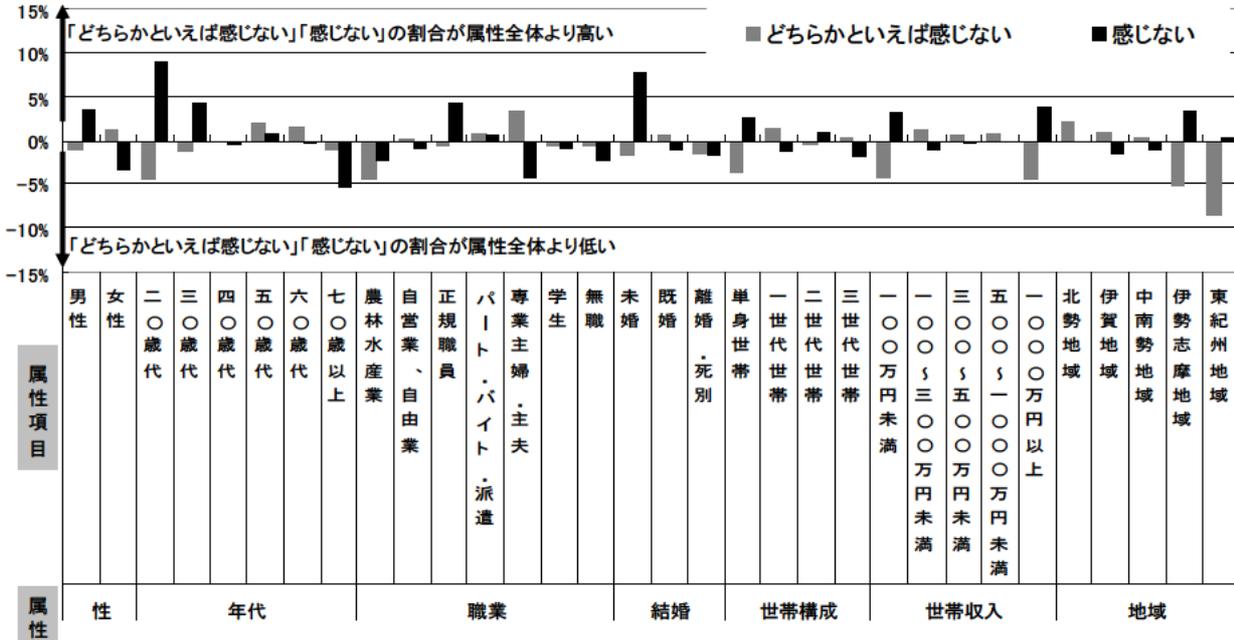
図表①：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-1におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表②：実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表③：実感している層と実感していない層 (属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる		未婚
どちらかといえば感じない		
感じない	男性、20歳代、正規職員、未婚	女性、70歳以上

#### 【要点】

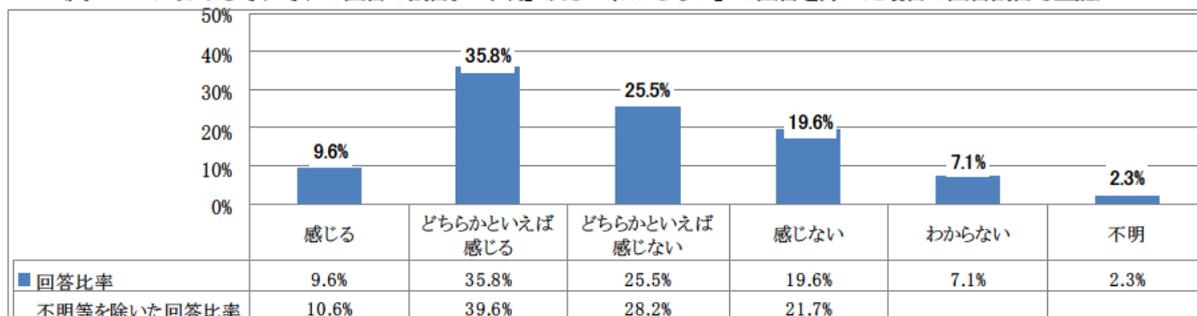
災害等の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は24.4%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は66.5%となっており、「実感していない層」が「実感している層」の倍以上を占めています。

特に「男性」は「女性」よりも「実感していない層」が多くなっています。また、「未婚」や「20歳代」においては「実感していない層」が多い一方、「70歳以上」や「農林水産業」、「東紀州地域」などにおいては「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(2) 必要な医療サービスが利用できている (問2-2)

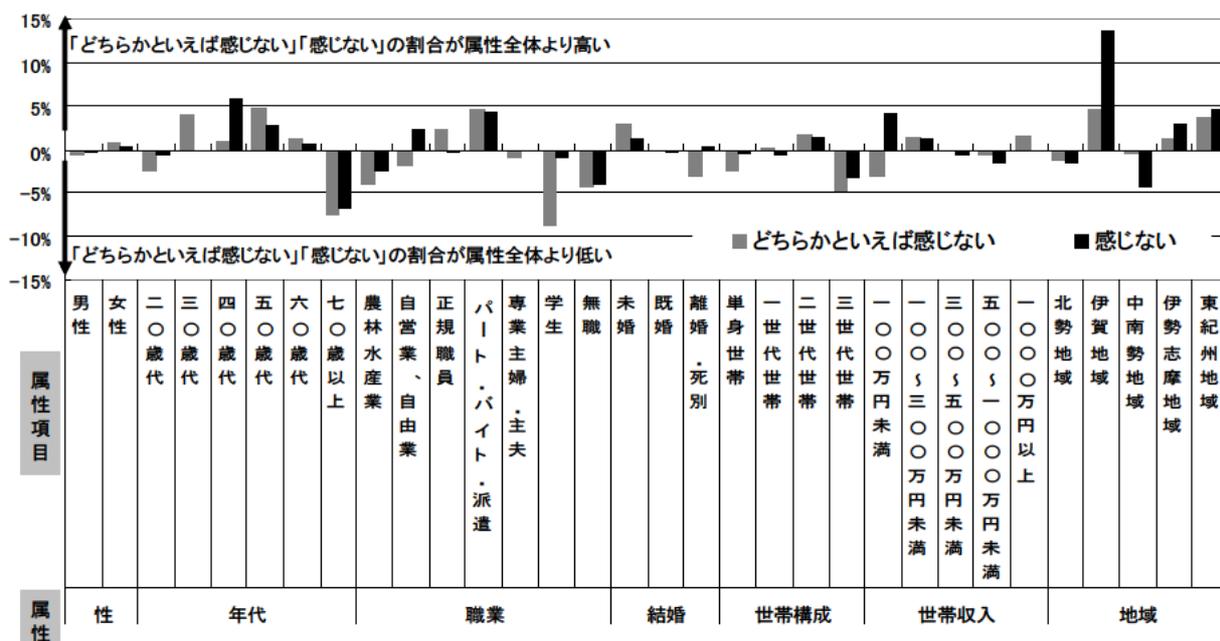
図表①: 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-2におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表②: 実感していない層はどのような人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表③: 実感している層と実感していない層 (属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	70歳以上、無職	
どちらかといえば感じる	三世帯世帯、500～1000万円未満、中南勢地域	伊賀地域
どちらかといえば感じない		70歳以上
感じない	40歳代、伊賀地域	70歳以上

【要点】

必要な医療サービスが利用できているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は45.4%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は45.0%となっており、「実感していない層」と「実感している層」はほぼ同じ割合となっています。

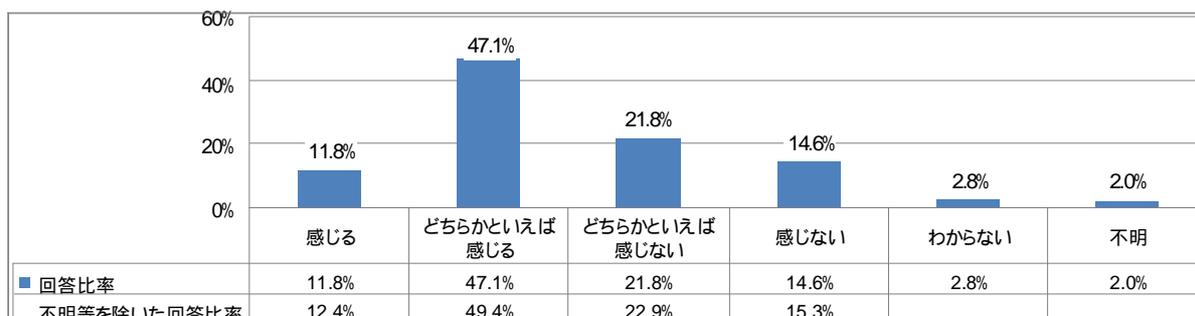
その中では、“伊賀地域”において「実感していない層」が多いことが非常に顕著になっています。

一方、“70歳以上”においては「実感していない層」が少なくなっています。

(3) 犯罪や事故が少なく、安全に暮らしている(問2-3)

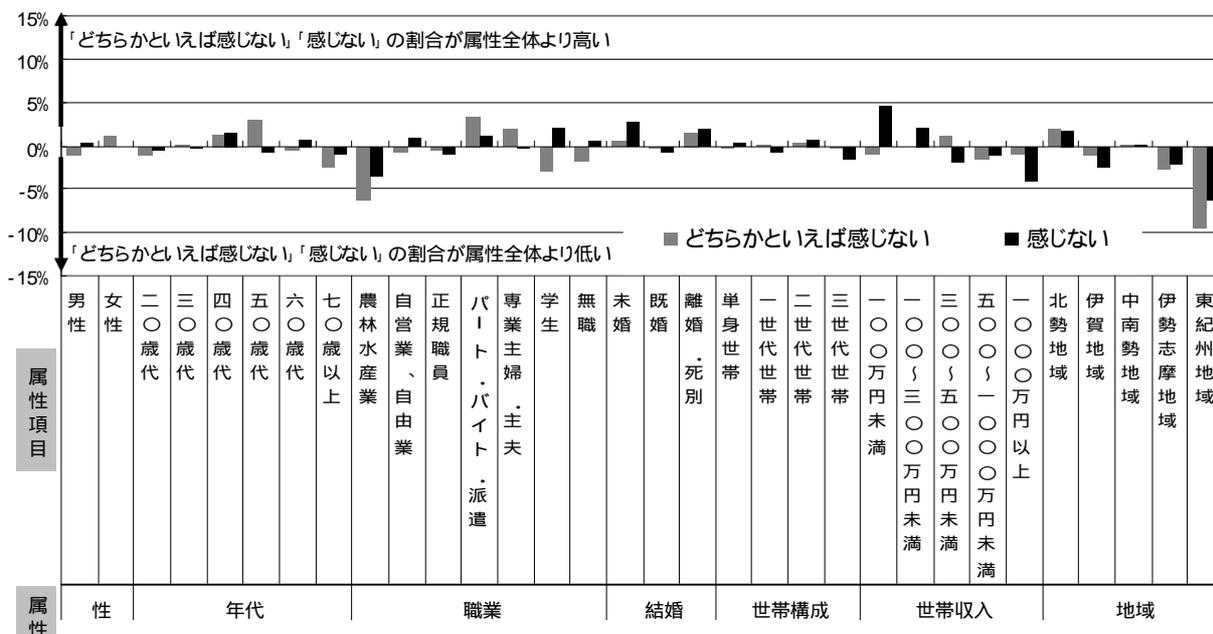
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-3におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちが

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	東紀州地域	
どちらかといえば感じる	500～1000万円未満、1000万円以上	離婚・死別、100万円未満
どちらかといえば感じない		
感じない		

【要点】

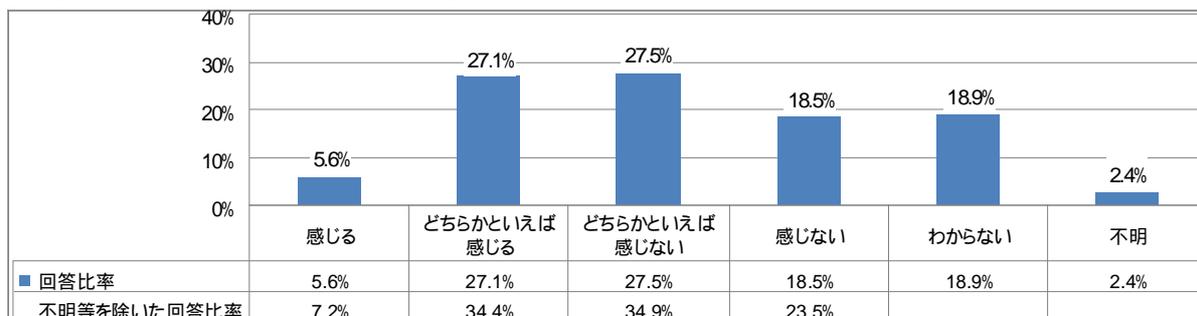
犯罪や事故が少なく、安全に暮らしているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は58.9%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感している層」の割合は36.4%となっており、「実感している層」が「実感していない層」を大きく上回っています。

特に、“農林水産業”と“東紀州地域”では「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(4) 必要な福祉サービスが利用できている(問2-4)

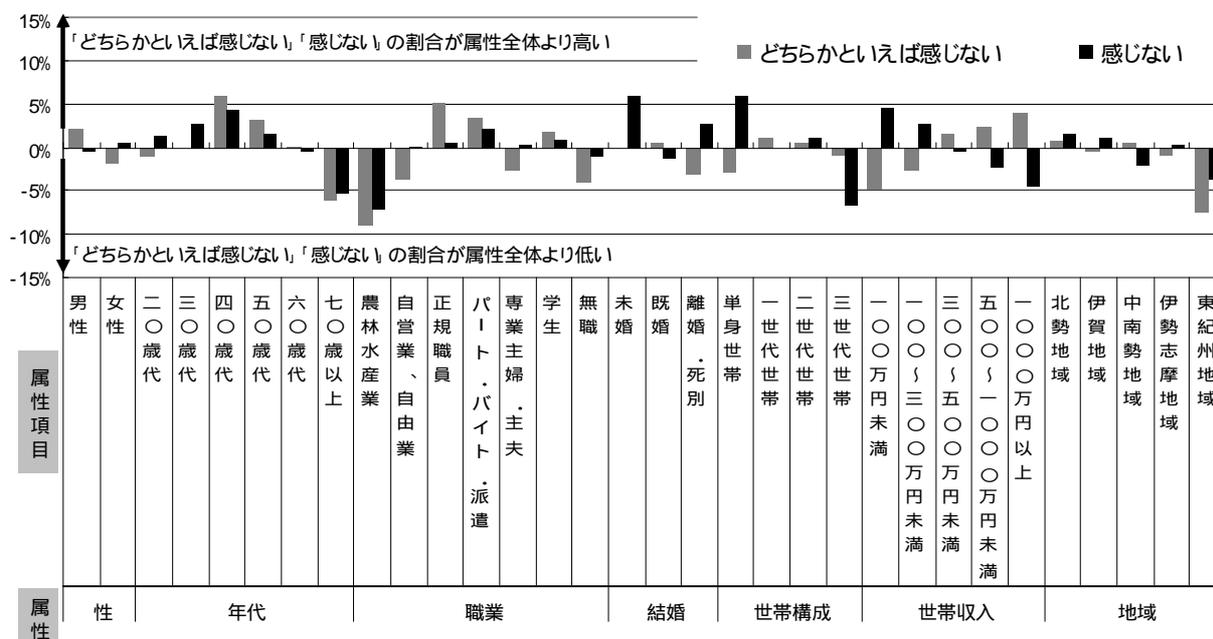
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-4におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちが

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	70歳以上	
どちらかといえば感じる	70歳以上、農林水産業	
どちらかといえば感じない	40歳代、正規職員	70歳以上
感じない		70歳以上、三世代世帯

【要点】

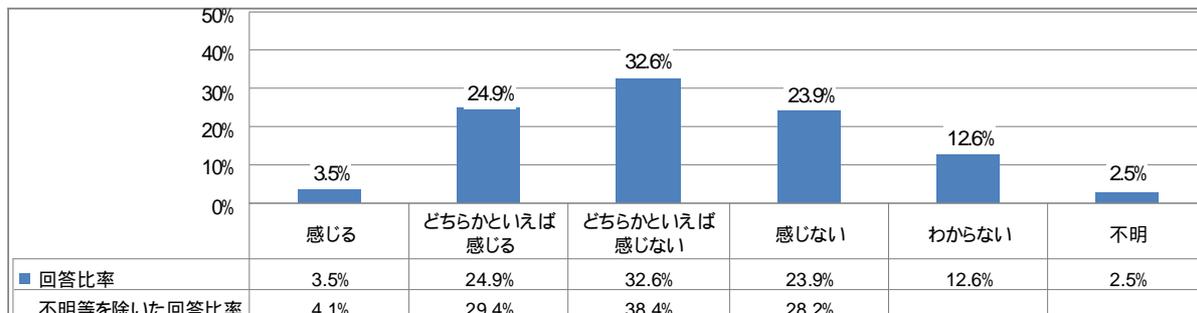
必要な福祉サービスが利用できているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は32.7%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は46.0%となっており、「実感していない層」が「実感している層」を上回っています。

特に、“40歳代”や“正規職員”、“未婚”において「実感していない層」が多く、“70歳以上”や“農林水産業”、“三世代世帯”、“東紀州地域”において「実感していない層」は少ない傾向にあります。

(5) 身近な自然や環境を守る取組が広がっている (問2-5)

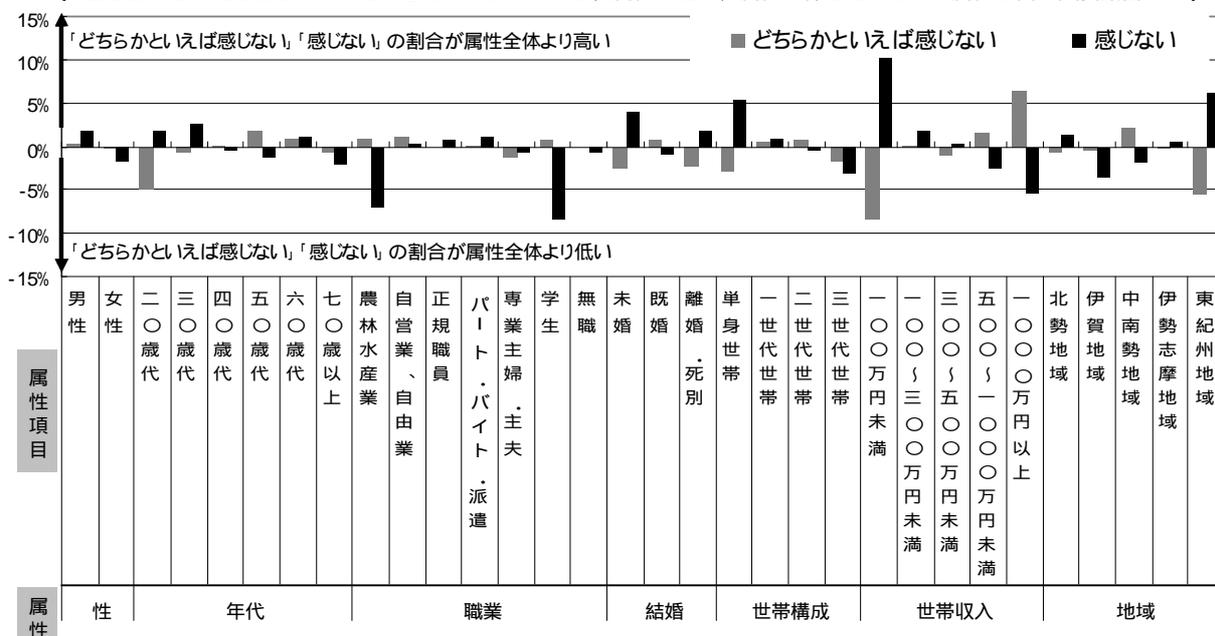
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-5におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層 (属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる		
どちらかといえば感じない		
感じない	100万円未満	

【要点】

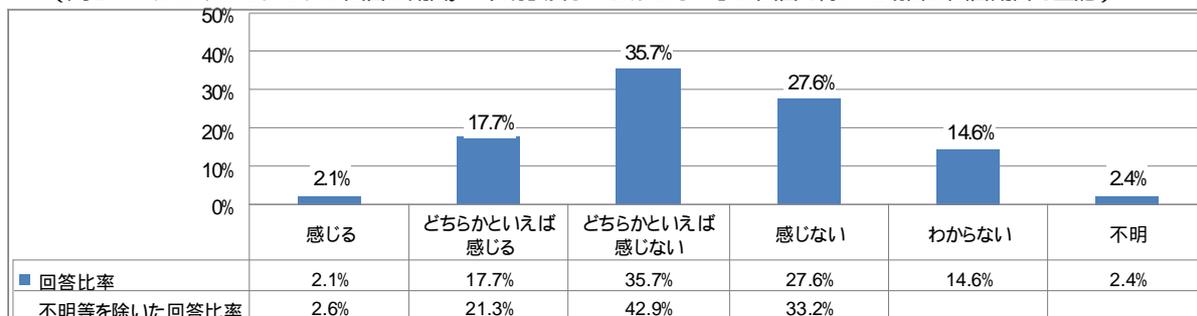
身近な自然や環境を守る取組が広がっているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は28.4%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は56.5%となっており、「実感していない層」が「実感している層」のほぼ倍となっています。

その中で、“農林水産業”と“学生”は「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(6) 一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できている(問2-6)

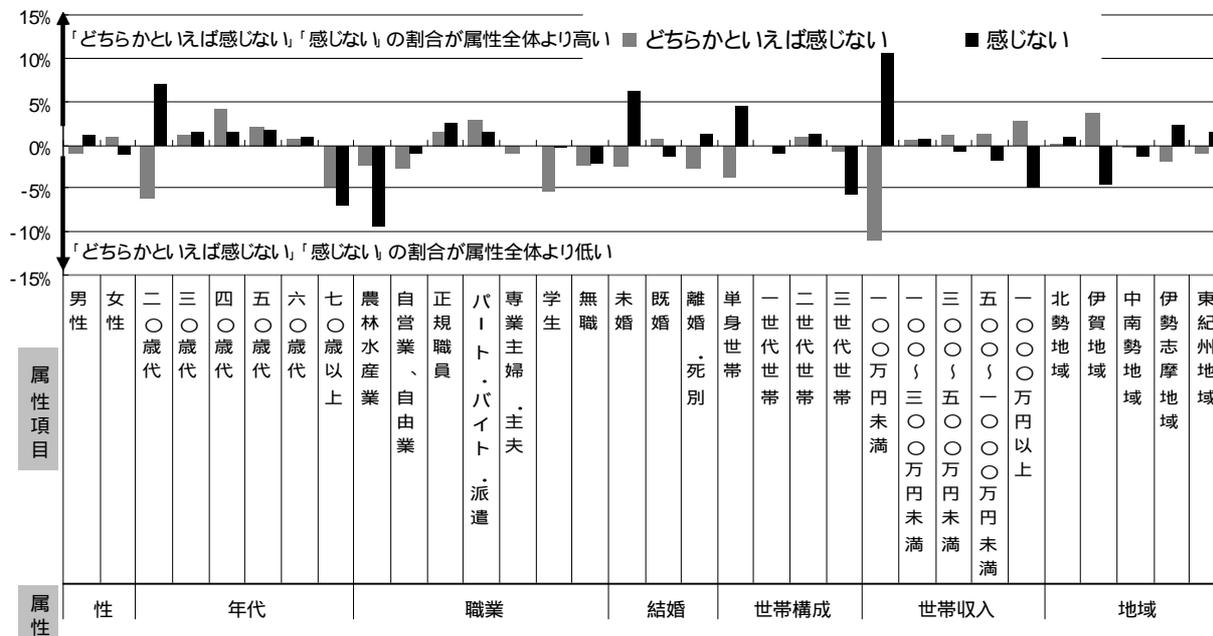
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-6におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	70歳以上	
どちらかといえば感じない		70歳以上、100万円未満
感じない	未婚、100万円未満	70歳以上、三世帯世帯

【要点】

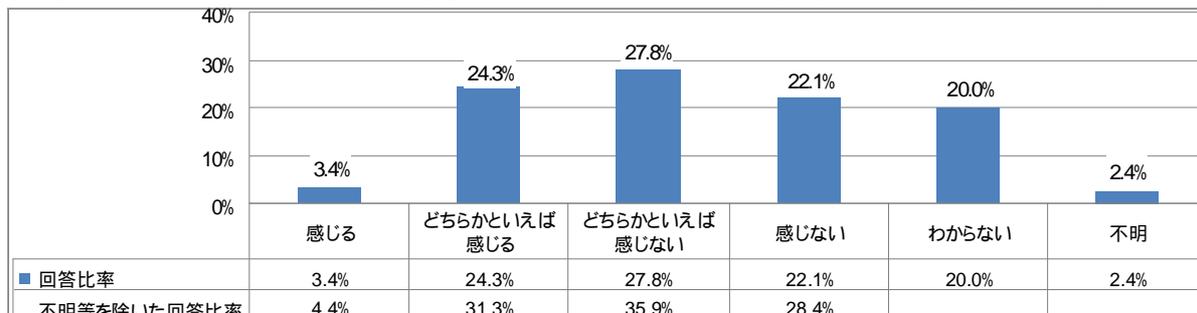
一人ひとりが尊重され、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は19.8%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した割合は63.3%となっており、「実感していない層」が「実感している層」を大きく上回っています。

その中では、“70歳以上”と“農林水産業”においては、「実感していない層」が少ない傾向にあります

(7) 子どものためになる教育が行われている(問2-7)

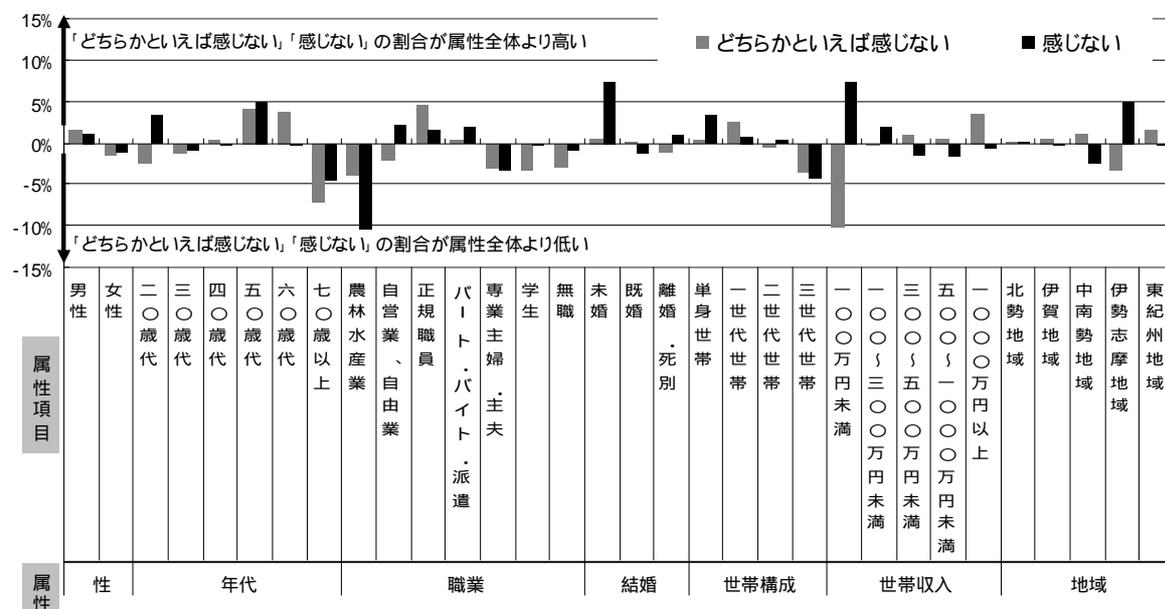
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-7におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	70歳以上、農林水産業、三世帯世帯	50歳代、正規職員、未婚
どちらかといえば感じない	正規職員	70歳以上、100万円未満
感じない	未婚	

【要点】

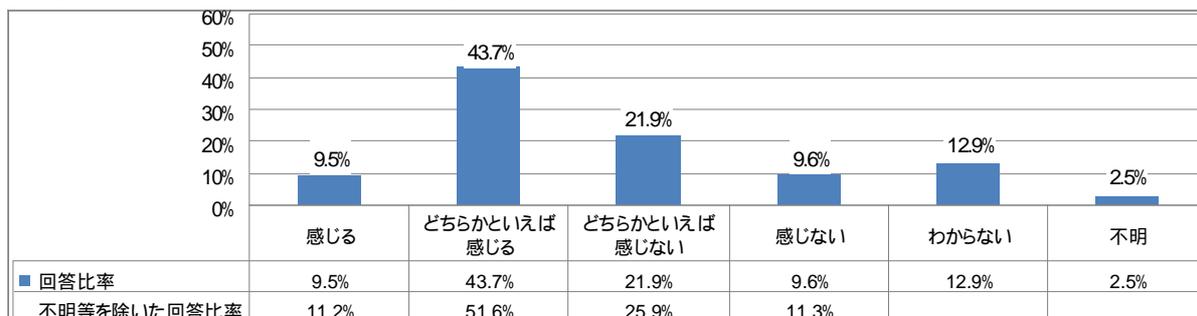
子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は27.7%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は49.9%となっており、「実感していない層」が「実感している層」を大きく上回っています。

特に、「50歳代」や「未婚」、「正規職員」で「実感していない層」が多い一方、「70歳以上」や「三世帯世帯」においては「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(8) 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている(問2-8)

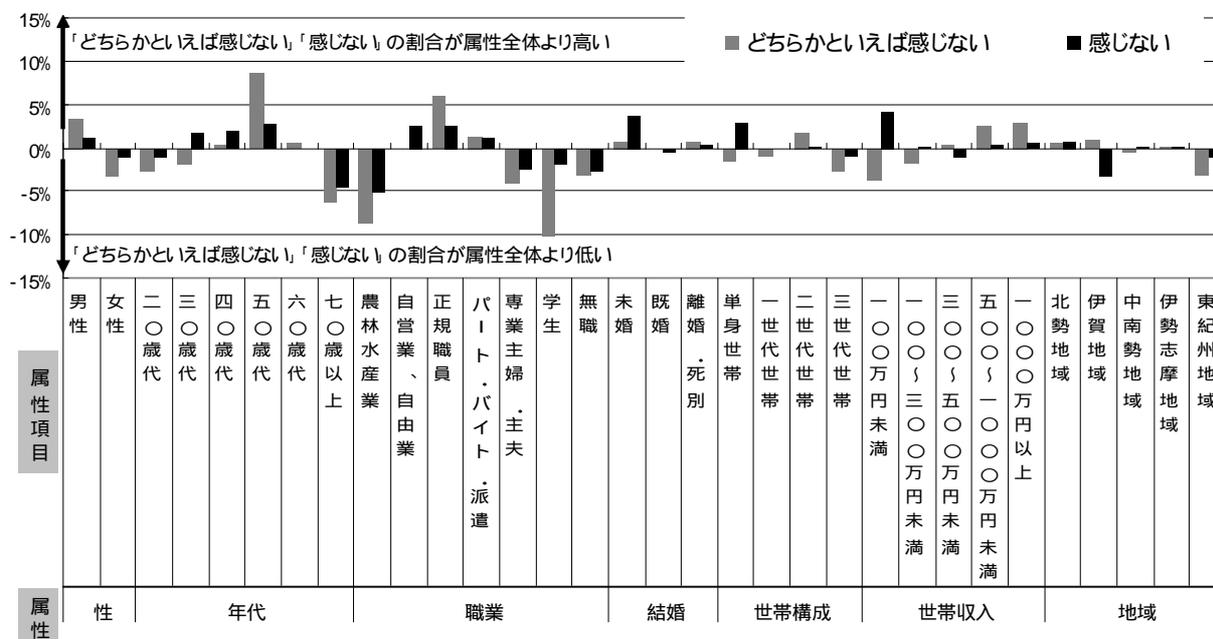
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-8におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	70歳以上、農林水産業	
どちらかといえば感じる	女性	50歳代、正規職員
どちらかといえば感じない	50歳代、正規職員	70歳以上
感じない		

【要点】

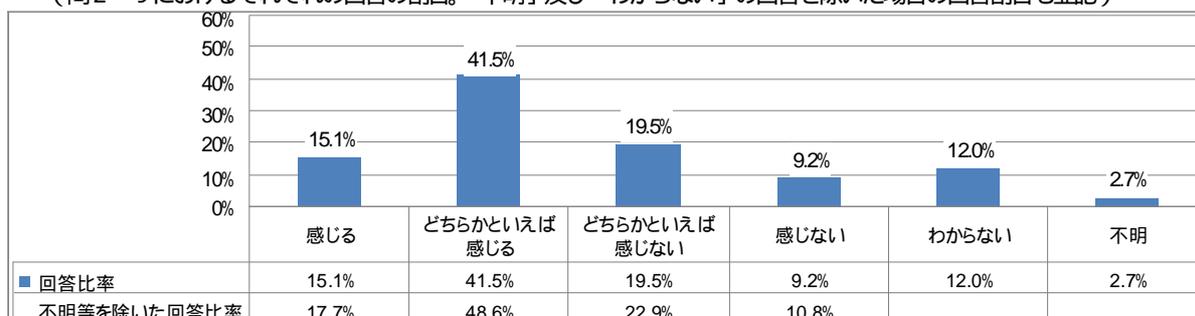
地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は53.2%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は31.5%となっており、「実感している層」が「実感していない層」を大きく上回っています。

特に、“70歳以上”、“農林水産業”において「実感していない層」が少ない一方、“50歳代”、“正規職員”においては「実感していない層」が多い傾向にあります。

(9) スポーツを通じて夢や感動が育まれている(問2-9)

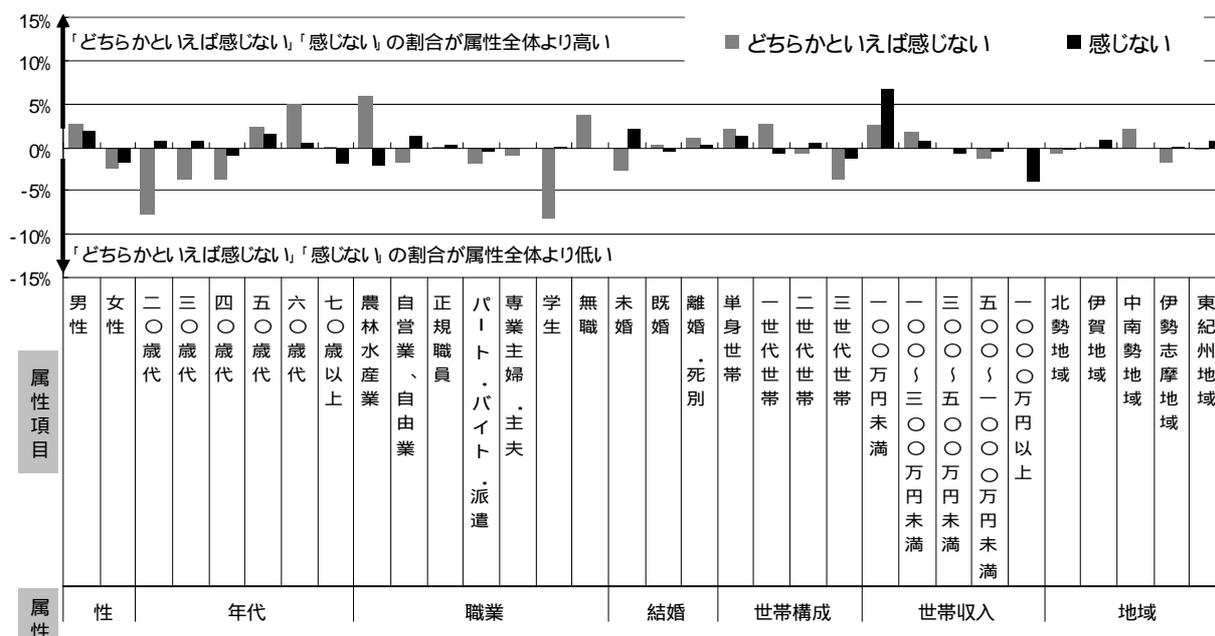
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-9におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	20歳代、30歳代	60歳代
どちらかといえば感じる		20歳代、未婚、100万円未満
どちらかといえば感じない	60歳代	
感じない		

【要点】

スポーツを通じて夢や感動が育まれているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は56.6%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は28.7%となっており、「実感している層」が「実感していない層」のほぼ倍となっています。

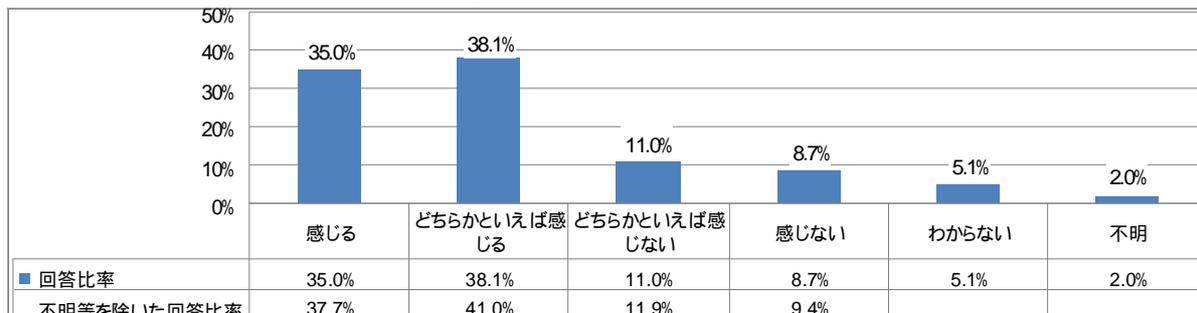
特に、“20歳代”、“30歳代”の若年者において「実感している層」が多くなっています。

また、世帯収入が“100万円未満”において「実感していない層」が多く、世帯収入が高くなる程、「実感している層」が多くなる傾向があります。

(10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい(問2-10)

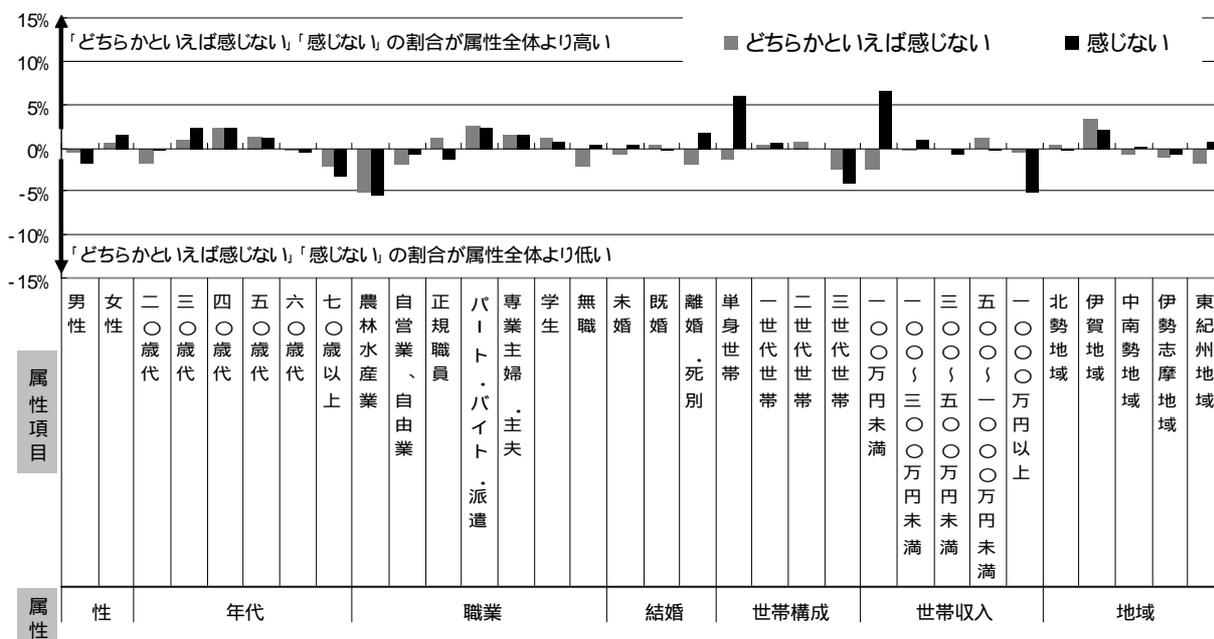
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-10におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	70歳以上、農林水産業、無職、三世帯世帯、100万円未満	40歳代、50歳代、パート・バイト・派遣、伊賀地域
どちらかといえば感じる	40歳代、1000万円以上	70歳以上、無職、100万円未満
どちらかといえば感じない		
感じない		

【要点】

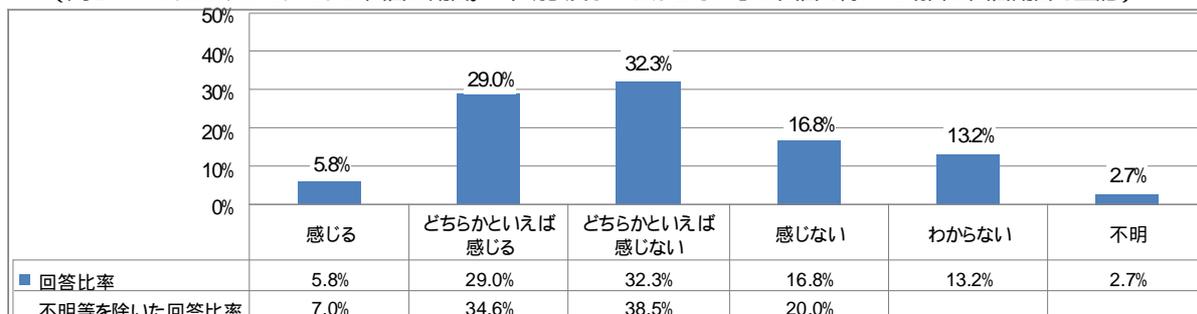
自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいについては、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は73.1%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は19.7%となっており、「実感している層」が「実感していない層」を大きく上回っています。

その中では、“パート・バイト・派遣”や“単身世帯”、“100万円未満”、“伊賀地域”において「実感していない層」が多く、“農林水産業”や“1000万円以上”は「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(11) 文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができる(問2-11)

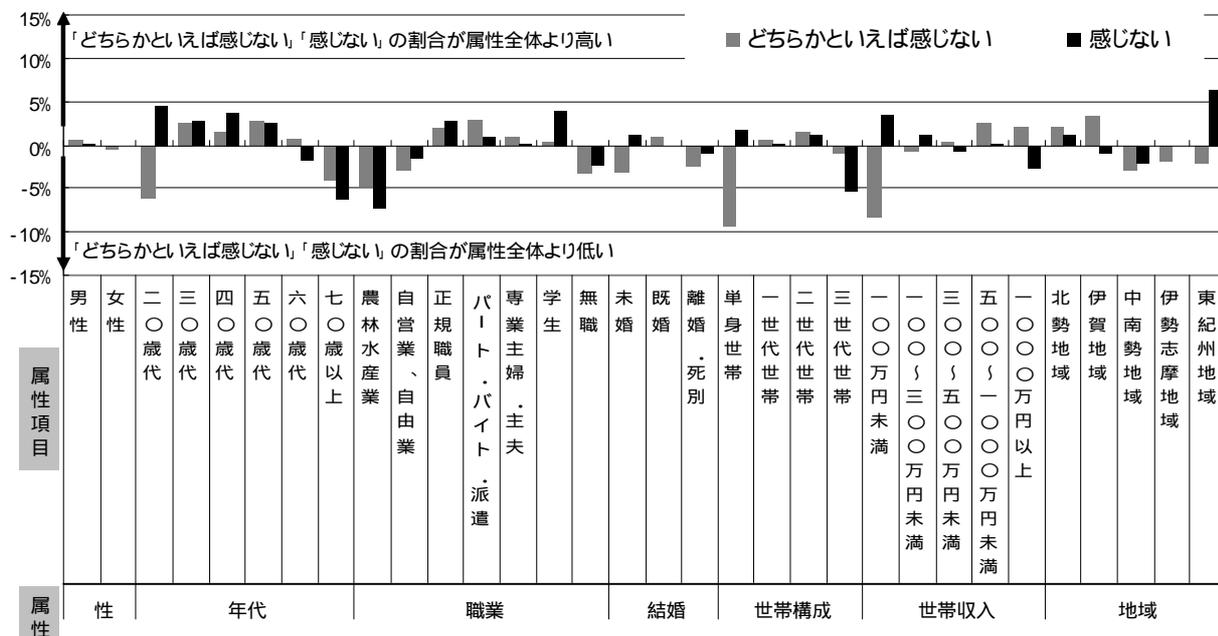
図表 : 県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-11におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表 : 実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表 : 実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	70歳以上	
どちらかといえば感じない		単身世帯
感じない		70歳以上

【要点】

文化芸術や地域の歴史等について、学び親しむことができるかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は34.8%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は49.1%となっており、「実感していない層」が「実感している層」を上回っています。

その中では、年代が上がるほど実感している人が増える傾向が見られるほか、“単身世帯”においては「実感していない層」が少なくなっています。また、“東紀州地域”において、「実感していない層」が多い傾向が見られます。

(12) 三重県産の農林水産物を買いたい(問2-12)

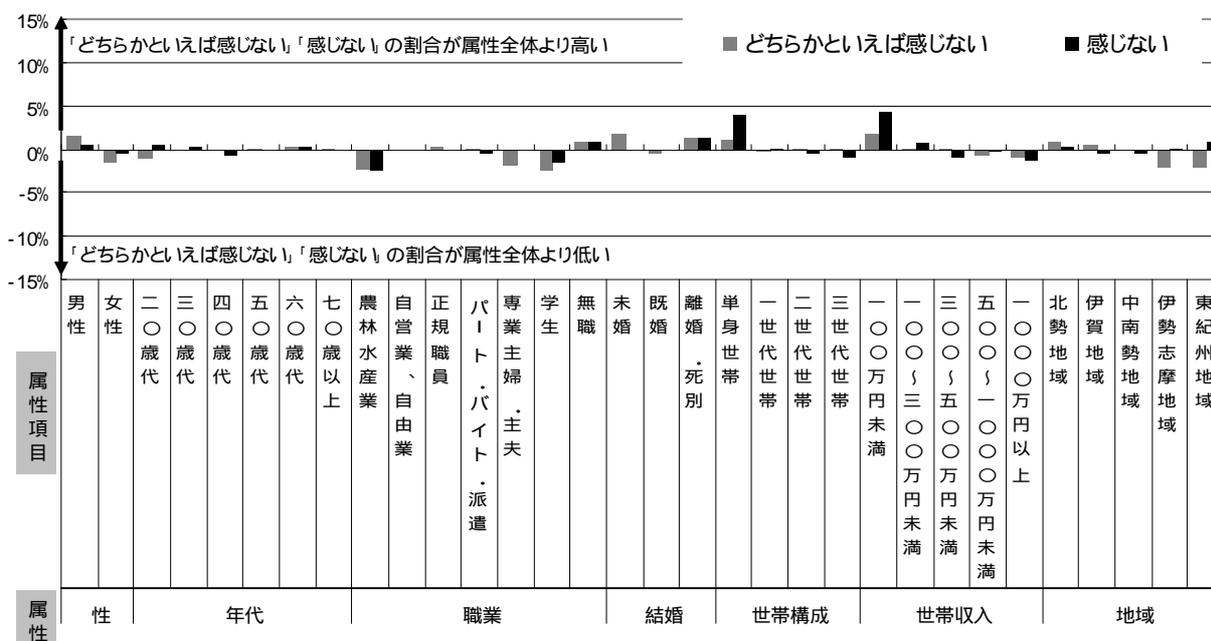
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-12におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる	女性、専業主婦・主夫、伊勢志摩地域、東紀州地域	男性、北勢地域、伊賀地域
どちらかといえば感じる	男性、伊賀地域	女性、専業主婦・主夫、伊勢志摩地域
どちらかといえば感じない		
感じない		

【要点】

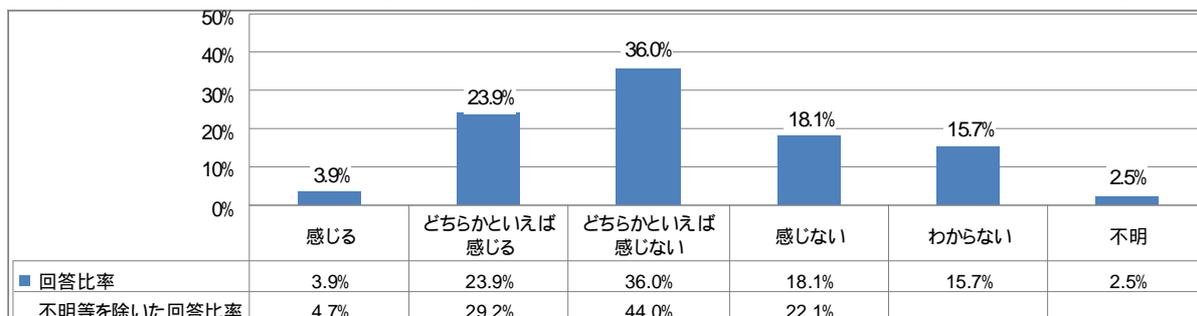
三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は87.4%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は7.9%となっており、ほとんどの人が実感しています。

世帯収入が増えるほど「実感している層」が増える傾向が見られるほか、“単身世帯”においては「実感していない層」が多い傾向にあります。また、“農林水産業”や“東紀州地域”、“伊勢志摩地域”は「実感していない層」が少ない傾向にあります。

(13) 県内の産業活動が活発である(問2-13)

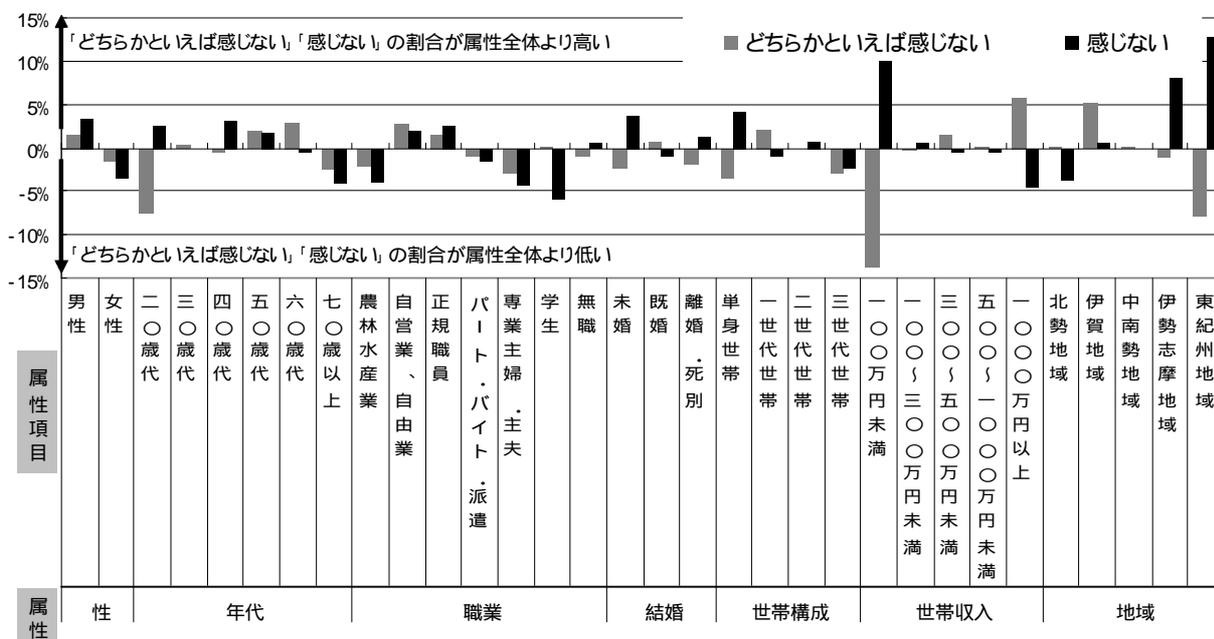
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-13におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	女性	男性
どちらかといえば感じない		100万円未満
感じない	100万円未満、伊勢志摩地域、東紀州地域	

【要点】

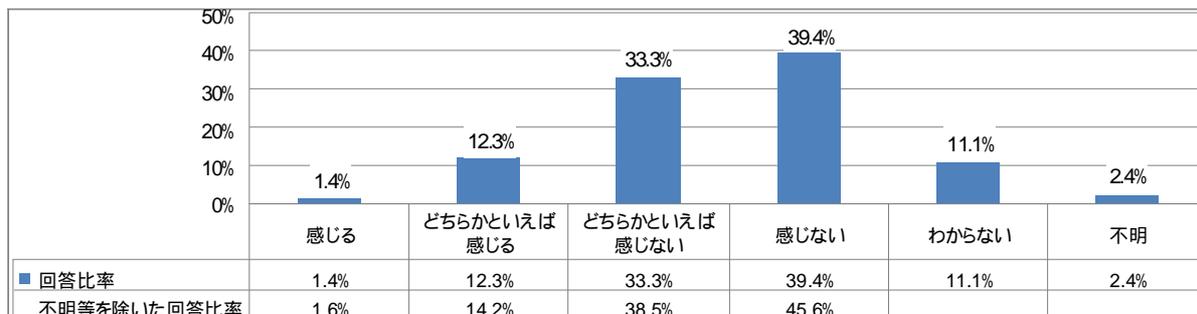
県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は27.8%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は54.1%となっており、「実感していない層」が「実感している層」のほぼ倍となっています。

特に、“東紀州地域”、“伊勢志摩地域”において「実感していない層」が多くなっています。また、“男性”のほうが、“女性”よりも「実感していない層」が多い傾向が見られます。

(14) 働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている(問2-14)

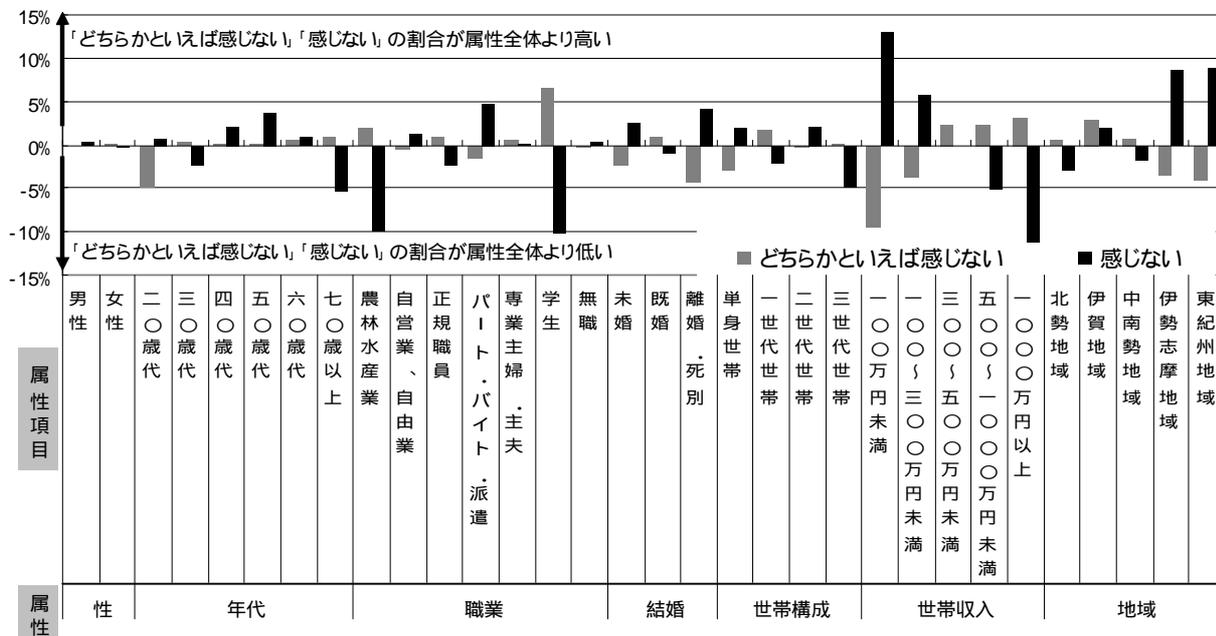
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-14におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	1000万円以上	
どちらかといえば感じない		100万円未満
感じない	パート・バイト・派遣、100万円未満、100～300万円未満、伊勢志摩地域、東紀州地域	70歳以上、農林水産業、500～1000万円未満、1000万円以上

【要点】

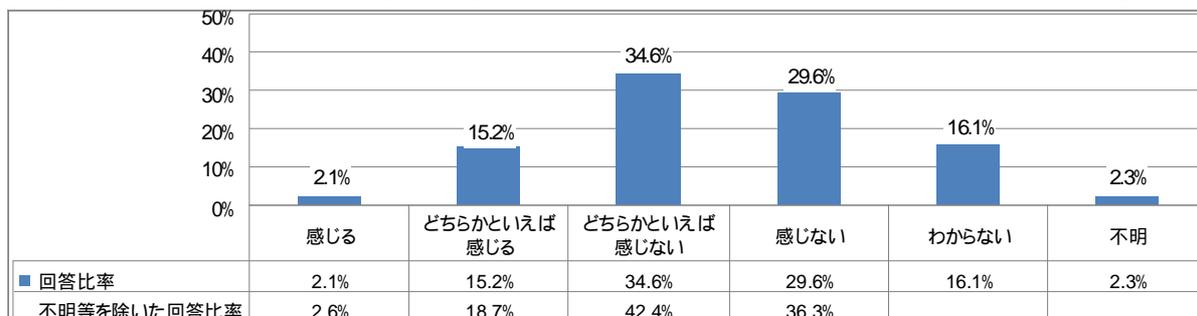
働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は13.7%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は72.7%となっており、「実感していない層」が「実感している層」よりも大きく上回っています。

特に、“東紀州地域”、“伊勢志摩地域”において「実感していない層」が多く、“農林水産業”においては少なくなっています。また、世帯収入が増える程、「実感している層」が増える傾向があります。

(15) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる(問2-15)

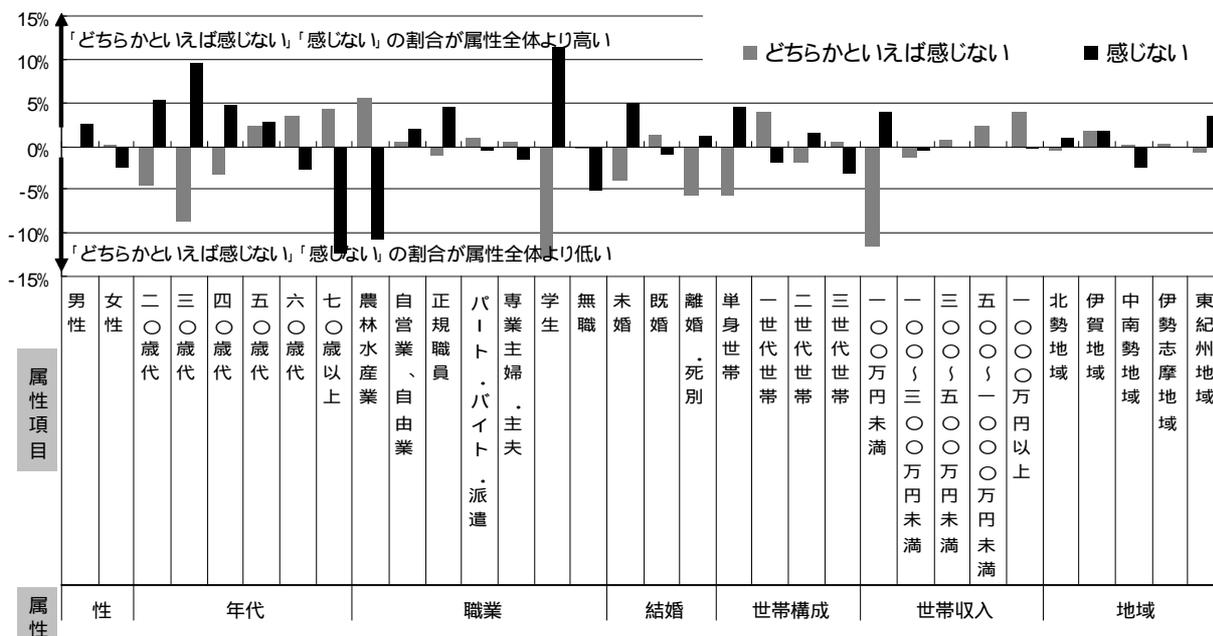
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-15におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちか

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	70歳以上	
どちらかといえば感じない	一世代世帯	30歳代、100万円未満
感じない	30歳代、正規職員	70歳以上、農林水産業、無職

【要点】

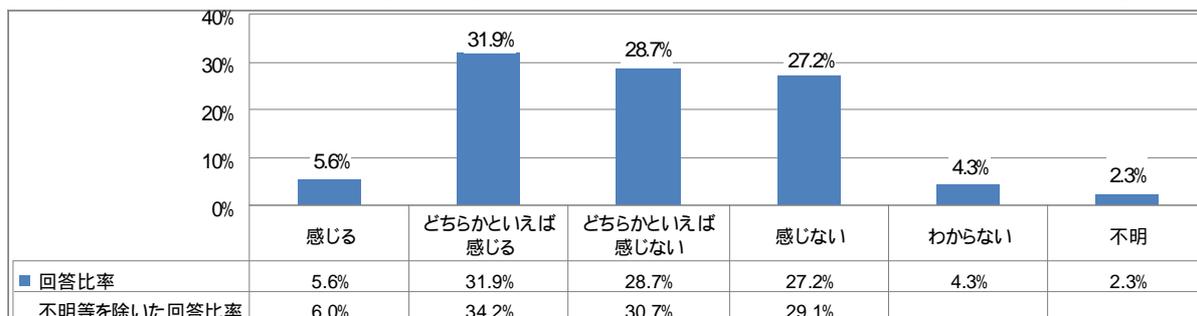
国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は17.3%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は64.2%となっており、「実感していない層」が圧倒的に多くなっています。

その中では、“70歳以上”、“農林水産業”において「実感していない層」が少なくなっています。

(16) 道路や公共交通機関等が整っている(問2-16)

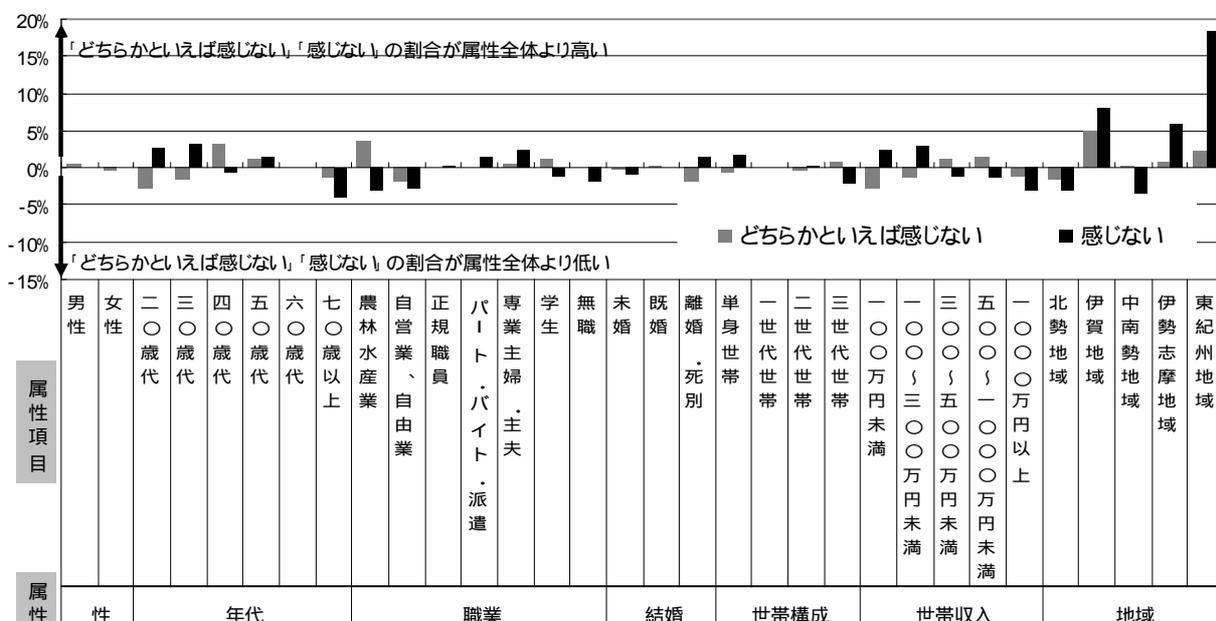
図表：県民の皆さんがどのくらい実感しているか

(問2-16におけるそれぞれの回答の割合。「不明」及び「わからない」の回答を除いた場合の回答割合も並記)



図表：実感していない層はどの人たちが

(「どちらかといえば感じない」と「感じない」における、属性ごとの、属性全体とそれぞれの属性項目の回答割合の差)



図表：実感している層と実感していない層(属性全体と各属性項目の回答割合の差のうち、統計的に有意な差がある属性項目)

	属性全体より回答割合が高い	属性全体より回答割合が低い
感じる		
どちらかといえば感じる	北勢地域	伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域
どちらかといえば感じない		
感じない	伊賀地域、伊勢志摩地域、東紀州地域	

【要点】

道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した「実感している層」の割合は37.5%、「どちらかといえば感じない」と「感じない」を合計した「実感していない層」の割合は55.9%となっており、「実感していない層」が「実感している層」よりかなり多くなっています。

特に、“東紀州地域”において「実感していない層」が非常に多く、“伊賀地域”、“伊勢志摩地域”においても多くなっています。